

ファゴット演奏者倶楽部第10回演奏会

2023年10月8日(日)14時開演 荻窪Gran Duo

アーント	(米/1889~1918)	「マリオネット」	(Fg)森川・阿部・吉倉・尾作
ヴェルディ	(伊/1813~1901)	歌劇「椿姫」前奏曲	(Fg)山田・大石・吉倉・阿部
ロッシェニ(ツァヘルト編)	(伊/1792~1868)	管楽器のための四重奏曲第3番 1st mov.	(Fl)若林(Cl)兼氏(Fg)阿部(Hn)奥園
グレイ	(?)	「ネレイド」	(Fg)尾作・吉倉・山田・大石
ロッシェニ(ツァヘルト編)	(伊/1792~1868)	管楽器のための四重奏曲第5番 1st mov.	(Fl)信澤(Cl)兼氏(Fg)吉倉(Hn)奥園
シマク	(阿/1958~)	「アンダンテとスケルツォ」	(Fg)大石・山田・阿部・吉倉
エルガー	(英/1857~1934)	「ハルモニウムジーク(五重奏曲)第2番」	(Fl)信澤・若林(Ob)楠原(Cl)庄子(Fg)辻
--- Intermission---			
ベゾツィ	(仏/1814~1879)	「ソナタ」 1st & 3rd mov.	(Ob)山本 (Fg)森川
アレクサンドラ	(羅/1947~2011)	「4本のファゴットの為の四重奏曲」	(Fg)辻・尾作・大石・山田
ロッシェニ(ツァヘルト編)	(伊/1792~1868)	管楽器のための四重奏曲第4番 1st mov.	(Fl)信澤(Cl)庄子(Fg)山田(Hn)奥園
アイレンベルク	(独/1848~1927)	「ペテルスブルクのそり遊び」	(Ob)楠原・山本(Fg)阿部・尾作
エルガー	(英/1857~1934)	「ハルモニウムジーク(五重奏曲)」第3番	(Fl)若林・信澤(Ob)山本(Cl)兼氏(Fg)尾作
		「ハルモニウムジーク(五重奏曲)」第4番	(Fl)信澤・若林(Ob)楠原(Cl)庄子(Fg)大石

出演者の簡単なプロフィール(50音順)

ファゴット演奏者倶楽部のメンバー

阿部憲一(あべ けんいち) 本日の使用ファゴット~Heckel

京都大学交響楽団で活躍する。ファゴットを光永武夫氏、森正彦氏、日名弘見氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団、アンサンブル・メゾン、管楽合奏は楽しい会?で演奏活動。大手化学会社に42年勤務する。退職後に音楽を中心に、毎日が日曜の生活が始まった。ポケ防止と、健康寿命を延ばすため、体力と筋力の強化に努めている。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人

大石龍巳(おおいし たつみ) 本日の使用ファゴット~Püchner

京都大学交響楽団で活躍する。阿部氏の後輩である。現在はアンサンブル・メゾン、管楽合奏は楽しい会?で演奏活動中。本業は地方公務員。横浜で街づくりの仕事に携わっている。日く、天気の良い日のランドマークタワーの眺望は最高。演奏会にお出での皆さん、横浜に行きましょう!

尾作拓郎(おさく たくろう) 本日の使用ファゴット~Yamaha Custom 811

1984年生まれ、神奈川県出身。法政大学第二高等学校の吹奏楽部にてファゴットを始め、法政大学交響楽団を経て、同大学卒業後はシステムエンジニアとして大規模金融システムの開発をする傍ら、週末に積極的に演奏活動を行っている。現在は管楽合奏は楽しい会?に所属。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人

辻 昭雄(つじ あきお) 本日の使用ファゴット~Heckel

法政二高吹奏楽部で法政大学、同大学院では同交響楽団にてファゴットを演奏する。ファゴットを森川一氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団及びフライング交響楽団、管楽合奏は楽しい会?に所属。普段は母校である法政二高で教鞭を採っている。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人

(+解説)森川 一(もりかわ はしめ) 本日の使用ファゴット~Pickert (日本に一つしかない珍品)

法政大学在学中ファゴットを始め、菅原暁氏に師事。同校卒業後、東京藝大別科で三田平八郎氏に、その後元ハンブルク州立劇場奏者フリッツ・ヘンカー氏に師事する。フリーの奏者として活動し今日に至る。78年より毎年ソロ及び室内楽の演奏会を主催。その他オケのトレーナー、文筆など多岐に渡る活動を行う。「管楽合奏は楽しい会?」及び「フルスヴァルト合奏団」「森川室内楽」などを主宰、またリード製作者としても高い評価を得ており「森川ファゴット&リード倶楽部」を運営している。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人代表

山田祐理 (やまだ ゆうり) 本日の使用ファゴット～Mollenhauer

10歳くらいまでヴァイオリンを、中学でユーフォニウムを吹き、法政二高吹奏楽部でファゴットを始める。その後法政大学交響楽団、ジュネス等で演奏。ファゴットを森川一氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団、ナズドラヴィ・フィルハーモニー、管楽合奏は楽しい会?で演奏するほか、エキストラとして数多くのオケに出演。背にはコントラ、手にはファゴットを持ち東奔西走している。平日は大学教員(物理化学)。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人

吉倉弘高 (よしくら ひろたか) 本日の使用ファゴット～FOX 600SS

高校入学と同時にファゴットを始め、加藤洋男氏に師事。その後横浜国立大学管弦楽団でオーケストラ活動を開始。大学卒業後、三鷹市管弦楽団を経てダンゲダーク管弦楽団、ナズドラヴィ・フィルハーモニーで活動中。また大学在学中から休止になる2001年までジュネスに参加し、最後の青少年音楽祭では首席を務めた。

註)ジュネス JEUNESSES MUSICALES 青少年音楽世界連合～ユネスコ傘下組織/本部ブリュッセル～日本ではNHKに支部があり、東京その他で25歳以下(後に30歳未満)の若者を対象に毎年音楽祭(合唱・マンドリンオーケストラ・交響楽団)を催したが、2001年を最後に日本での活動を休止した。

賛助出演の方々(パート別50音順)

(F1)信澤達也(のぶさわ たつや)

高校1年のとき隣席の友人の勧めでフルートを始め、磯辺庄平氏に師事。東京大学音楽部管弦楽団を経て卒業後は東京アマデウス管弦楽団(2009～2014は団長)で活動。鉄鋼系化学メーカーで永らく研究職を勤めたが現在は特許関係の仕事に移った。終日机に向かう仕事なので運動不足が気になる気になる昨今である。現在、職場のビッグバンドでは何とバストロンボーン兼コンサートマスターとして活動中。10年以上、管楽合奏は楽しい会?の為にオリジナル編曲をしている。

(F1)若林剛守(わかばやし たける)

中学入学時に吹奏楽部のコンサートで聴いた「星条旗よ永遠なれ」のピッコロに憧れ、フルートを始める。ただ、同パートを吹いて目標を見失ったのか、高校時代は帰宅部に。大学入学と同時に東京大学音楽部管弦楽団に入団し、新井力夫氏に師事。進級するのを忘れるほどのめり込むものの、卒業後は某メーカーに就職し、十余年にわたり東北の某都市にて音楽演奏と無縁の日々を過ごす。もう一生吹かない気がしていたが、東京転勤を機に、会社の大先輩に誘われて活動を再開。現在は東京アマデウス管弦楽団に所属。

(0b)楠原千佳子(くすはら ちかこ)

中学からオーボエを始め、藤原勲氏に師事。東京大学音楽部管弦楽団を経て、現在は東京アマデウス管弦楽団及びアンサンブル・メゾン、管楽合奏は楽しい会?に所属。大学～大学院を通して、コンクリート相手の研究で手がザラザラした時期もあったが、現在は少し手にやさしい社会人となった。

(0b)山本悦子(やまもと えつこ)

中学でオーボエを始め、専修大学フィルハーモニー管弦楽団を経て、2001～2013年までエルムの鐘交響楽団にて、その後合奏団ZEROで2020年まで活動。2008年にハルモニア合奏団で管楽合奏を始め、2014年から「管楽合奏は楽しい会?」、2021年から大田フィルハーモニー管弦楽団に参加。勤務先の大学病院では広報を担当している。自他ともに認める無類のパンダ好きで、シャンシャンの名付け親の一人である。上野と和歌山に通い、予パンダの成長を楽しみに見守っている。

(C1)兼氏規雄(かねうじ のりお)

東京藝術大学附属高校を経て同大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学留学。NHK洋楽オーディション合格。NHK「午後のリサイタル」等に出演。水戸芸術館“公募企画シリーズ”の第1回出演者に選出されリサイタルを開催。08年、東京オペラシティでのリサイタルについて、「音楽の友」誌上で絶賛される。水戸芸術館主催の「茨城の名手・名歌手たち」オーディション審査員、「茨城の演奏家による演奏会企画」選考委員、茨城県の新人演奏会出演オーディション審査員、新人賞選考委員。また、日本クラシック音楽コンクールの全国大会木管楽器部門審査員も務める。現在、上野学園大学音楽学部、茨城大学教育学部、大東文化大学文学部講師、水戸ゾリス代表。フルスヴァルト合奏団同人

(C1)庄子穂奈美(しょうじ ほなみ)

1990年宮城県に生まれる。中学の吹奏楽部でクラリネットを始める。高校からレッスンに通い、昭和音楽大学短期大学部を卒業。クラリネットを千石進、堀川豊彦氏に、室内楽を太田茂氏に師事。管楽合奏は楽しい会?で演奏活動中。

(Hn)奥 基(おくその もとい)

筑波大学管弦楽団出身。澤敦氏と Basil Kritzer 氏にホルンを師事。現在はソフトウェアエンジニアとして働く傍ら、アマチュアホルニストとして東京アマデウス管弦楽団を中心にクラシックのオーケストラや劇伴音楽の演奏企画に参加。

2002年にファゴットの会をしようと仲間と相談し、法政ファゴット会として2003年から演奏会を始めました。10年続け2013年からは現在のファゴット演奏者倶楽部に衣替えし、10年目を迎えました。コロナ禍でも中止せずに合計20年、まあ良く続いたものだと呆れます(笑) 生きている間は何とか続け様と思うのですが、いかが相成ります事やら。先の事は分かりませんので、ケ・セラ・セラです。 さて最初の曲に出ますので、その解説を記しておきます。アートはアメリカの作曲家で、ラグタイムという様式を得意とした作曲家です。若くして亡くなったのですが、死因はスペイン風邪で肺炎が悪化したからだそうです。今日演奏する「マリオネット」は彼の出世作ですが、ラグタイムで書かれています。原曲はピアノ曲ですが、ファゴットの方が分かり易く面白いと思うのです。特に操り人形の戯けた様子の表現は、この楽器に相応しいものです。それでは演奏を始めますが、皆様にお楽しみ頂ければ幸いです。

苦言提言などございましたら、以下のメールアドレスにお寄せ下さい heckelbasson@yahoo.co.jp